



堺市社会福祉事業団だより

Vol.56

就任のごあいさつ	1
堺市立健康福祉プラザNEWS・事業団NEWS	2
児童発達支援センター保護者アンケート	4
事業団NEWS	6

令和5年(2023年)12月
 発行：社会福祉法人
 堺市社会福祉事業団
 TEL：072-294-7943
 FAX：072-298-0216



就任のごあいさつ

理事長 山本甚郎

皆さんこんにちは
 本年4月に当事業団の理事長に就任させて頂きました山本甚郎と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

私は、この3月まで堺市に37年間勤め、そのうち21年は福祉分野で、残り16年間は、総務分野での仕事をしてまいりました。その中で、相談業務を主たる業務の一つとして長期にわたり担当してきましたが、その際の私のモットーは、相手の立場に立って物事を考えるというものでした。これは、私が堺市に奉職して最初の仕事が、福祉の現場であったという経歴が大きく影響しているのではないかと感じています。

令和の今は「多様性の時代」と言われています。心身の状況、生まれ育った環境、考え方、性格等人それぞれ異なり、誰一人として同じ人はおらず、まさに

「多様」です。障害や発達の遅れなど、それぞれ多様なお子さんをお預かりし、持てる能力に応じたその子らしい「生き生き」とした生活を地域社会の中で送れるようにするためには、その子のニーズ（立場）に合った適切な療育を確りと進めることが基本であると考えます。障害のあるお子さん、その親御さんや兄弟姉妹の立場に立ち、時代の流れに合った適切なサービスを提供するため職員一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。

また、来年4月には、児童福祉法が一部改正され、児童発達支援センターの中核機能（①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援、②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能、③地域のインクルージョン推進の中核機能及び④地域の発達支援に関する入口としての相談機能）の強化が図られることとなっています。当事業団といたしましても、これに向け各機能の強化等を図り、市民福祉の向上に寄与するため、微力ながら力を尽くしてまいりたいと考えています。

皆様方には、温かいご支援・ご協力を賜りますれば幸いです。



令和5年度辞令交付式



幼児教育担当者・初等教育研究特別支援部会のセンター視察

相談・申込窓口のご案内

◆療育の窓 おおぞらでは、発達や療育の相談と右記の施設の利用について相談を受け付けています。

◎療育の窓 おおぞら TEL.072-294-7943 FAX.072-298-0216

診療所

つぼみ診療所
もず診療所

児童発達支援センター

第1・第2つぼみ園
第1・第2もず園

通所教室

めだか親子教室

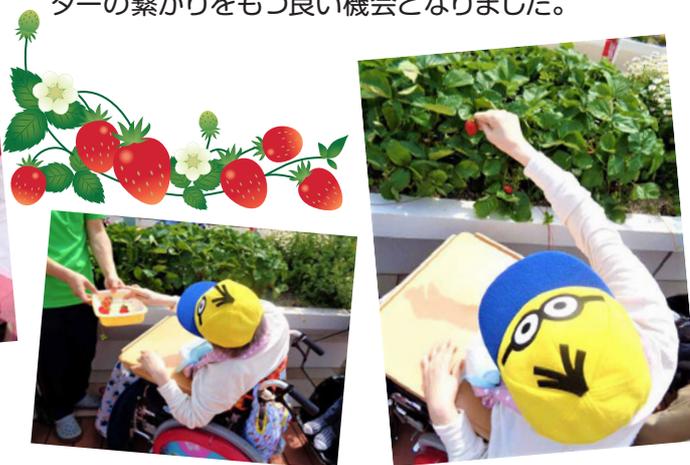
今年もイチゴがたくさんできました！

生活リハビリテーションセンターでは、健康福祉プラザの屋上ふれあいガーデンにて、ご利用者様と年間を通じて季節ごとの草花や野菜を育てる園芸活動をしています。毎年春にはレイズドベッド（高さのある花壇）で育てたイチゴの収穫をしゃがみ込み動作が難しい方や車いす利用者の方にも楽しんでいただいています。

今年もたくさんのイチゴが実り、5月10日に重症心身障害者（児）支援センター「ベルデさかい」のご利用者様5名にイチゴの収穫をしていただきました。ご自身でイチゴを見つけて楽しそうに摘み取られたり、スタッフが収穫したイチゴを手渡されたりして、皆さん笑顔になっていました。収穫したイチゴは管理



栄養士さんの管理の下で安全に美味しく食べられたそうです。イチゴの収穫という活動を通して、両センターの繋がりをもつ良い機会となりました。



福祉と農業と地産地消！

地域にある福祉事業所で、障害のある方々が「働く」ことを目的として取り組む、ものづくりや作業のことを「授産（じゅさん）活動」といいます。授産活動支援センターは、その活動がより一層発展し、障害のある方のやりがいの増進や活動の活発化につながるよう、また社会参加が促進することをめざして、福祉事業所への様々な支援を行っています。

堺市内には授産活動として農業に取り組んでいる福祉事業所が複数あるのですが、野菜を栽培したり加工したり、販売をする中で連携をしていくために発足した「つながるファーム」というネットワークづくりに当センターも協力をしています。このたび、もず園とつぼみ園から「福祉事業所で生産している野菜を給食の食材として活用したい」とのご相談があり、当センターからネットワークを通して紹介したところ、今回は南区にある福祉事業所のヤオヨロズヤからじゃがいもやニンジンなどが納品されることとなり

ました。福祉事業所で栽培しているのは無農薬もしくは低農薬の野菜です。両園からは、「生産者の顔が見える安心な食材で、よりおいしい給食を子どもたちに提供できた」と大変喜んでいただけました。今後も引き続き、採れたての季節野菜を福祉事業所から調達してもらえよう、その仕組みづくりを進めていきたいと思えます。



運動会を行いました！

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、今年度も園単位での開催となりました。

第2つぼみ園は9月30日（土）、第1つぼみ園は10月1日（日）、第1もず園は10月7日（土）、第2もず園は10月8日（日）にそれぞれ開催しました。

運動会に向けて、おたよりなどで取り組みや見どころ、子どもたちのがんばる姿などお伝えし、保護者の方と一緒に進めてきました。

今年度は、保護者の方だけでなくきょうだいの方にもご来園いただき、賑やかな運動会となりました。1学期から積み重ねてきた遊びを取り入れながら、それぞれクラスの特徴のある取り組みとなりました。子どもたちは、いつもとは違う雰囲気の中、緊張した様子を見せていましたが、担任やクラスのとちもだちと一緒に最後までやりきり成長した姿をみせてくれました。たくさんのご家族の方にご来園いただき、子どもたちの取り組みを温かく応援してくださり本当にありがとうございました。



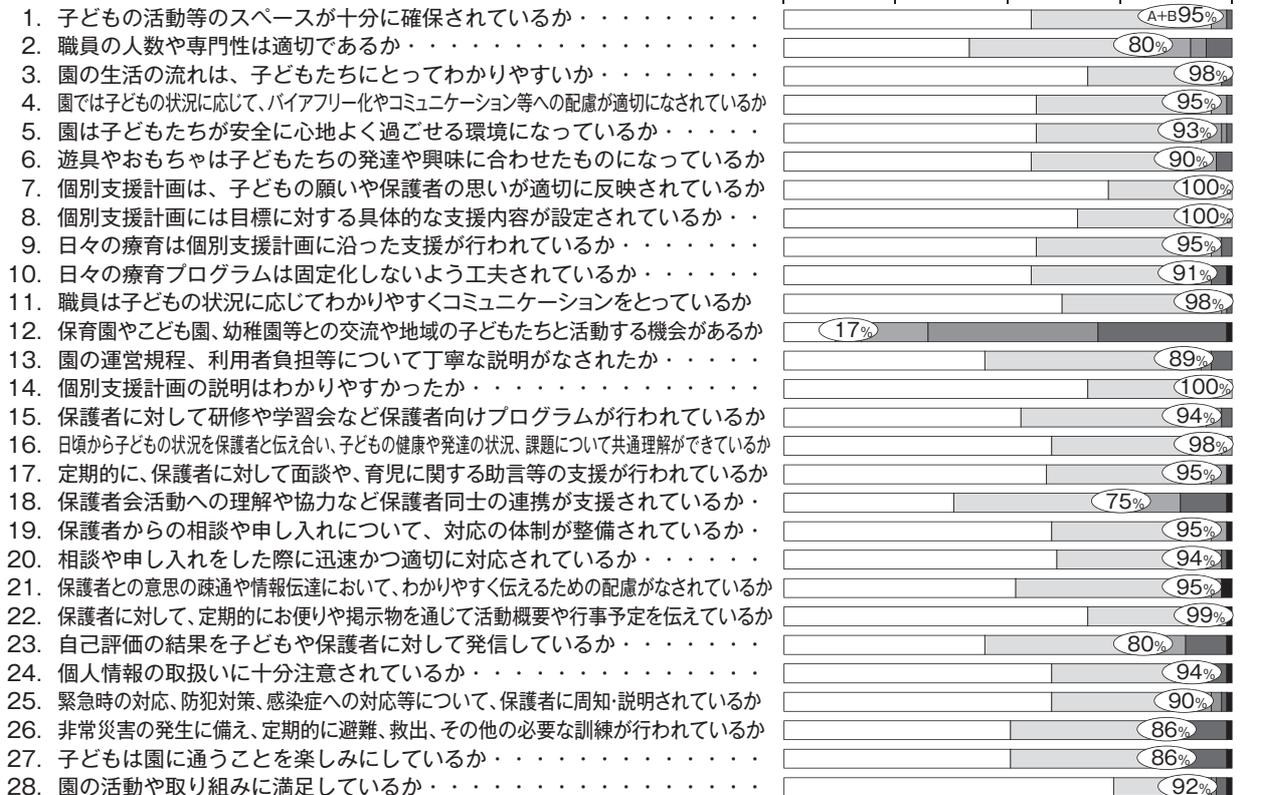
令和4年度保護者アンケート(4園と並行通園)の集計結果

※グラフの薄い色は高い評価を濃い色は低い評価を示しています。

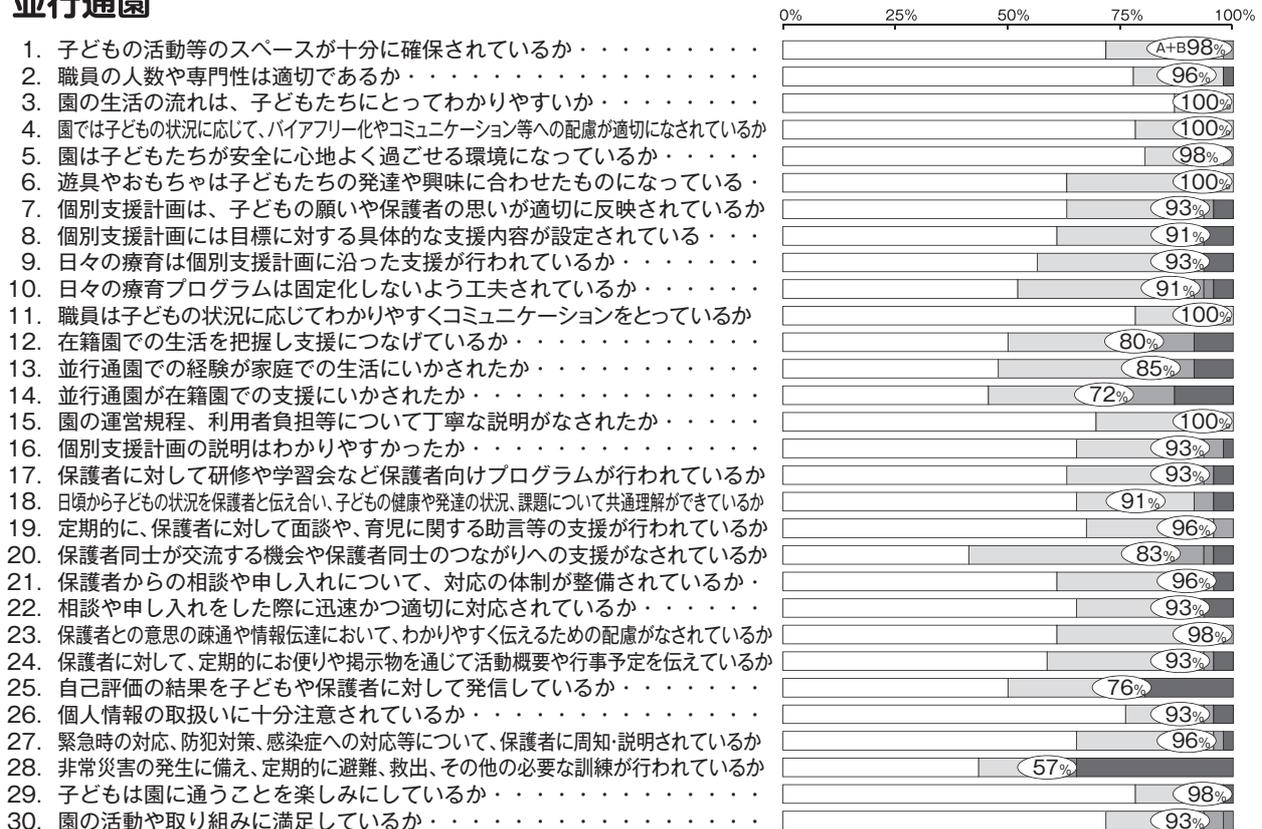
※A+Bの合計%を表示しています。

Aよくあてはまる
 Bややあてはまる
 Cあまりあてはまらない
 Dまったくあてはまらない
 Eわからない
 F:無回答

毎日通園

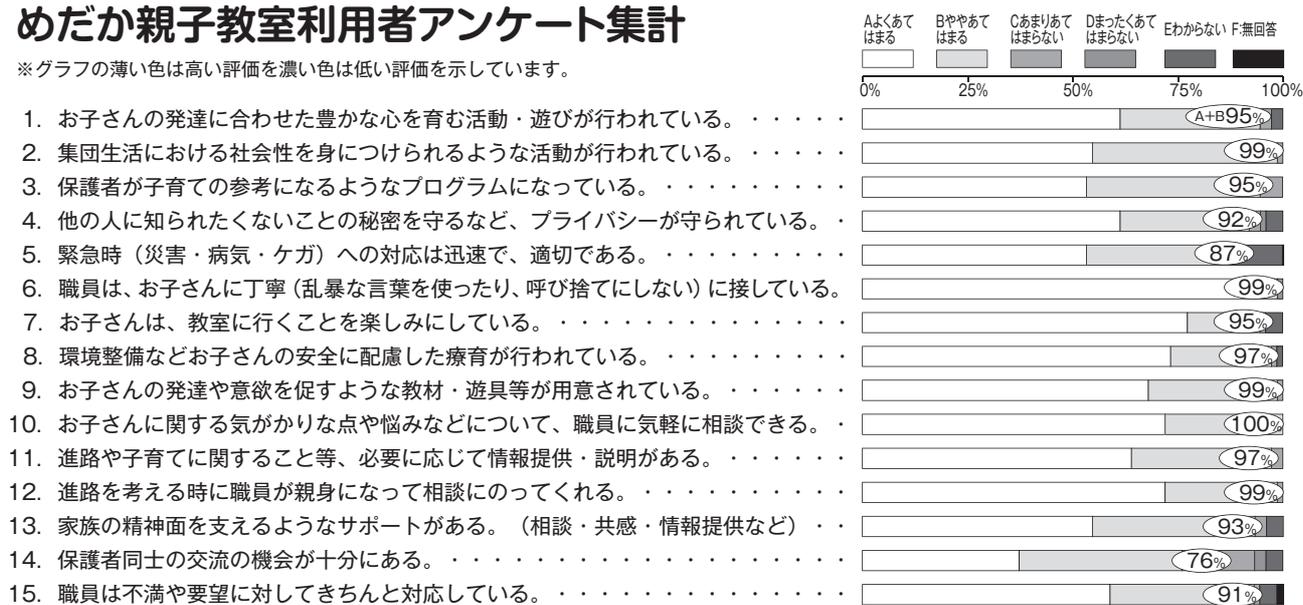


並行通園



めだか親子教室利用者アンケート集計

※グラフの薄い色は高い評価を濃い色は低い評価を示しています。



☆アンケート結果より

児童発達支援センター分については、毎日通園クラスと並行通園クラスとに分けて回収しました。回収率は全体で70.5%となっています。項目は(A)「よくあてはまる」(B)「あてはまる」(C)「あまりあてはまらない」(D)「あてはまらない」(E)「わからない」の5つです。

児童発達支援センター、毎日クラスにおいては、(A) + (B) の割合が28項目中26項目で80%以上で、全項目平均は89.9%でした。今年度も個別支援計画に基づいた療育内容やお子さんへの直接支援については、概ね高い評価を得ています。(A) + (B) が80%に達しなかったのは、地域のこども園等との交流の有無、保護者同士の交流、といった項目でした。これらの項目については新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかつたり開催頻度が少なかつたりしたことが理由として考えられます。令和5年度は感染拡大の状況に留意しつつ地域のこども園との交流等も再開させていく予定です。

次に、並行通園クラスでは、(A) + (B) の割合が30項目中27項目で80%以上となっており、全項目平均は91.6%でした。毎日クラスと同様に個別支援計画に基づいた療育内容やお子さんへの直接支援については概ね高い評価を得ている一方、(A) + (B) が80%に達しなかった、在籍園との連携、保護者同士の交流、自己評価の発信、非常災害に備えなどの項目については、取り組みについて説明する機会等を作っていく中で前年度以上の評価をいただきましたが、まだ80%に届かない項目があり、今後も引き続き丁寧に取り組んでいきます。

めだか親子教室は、ほとんどの項目について高い評価を頂いていますが、児童発達センターと同様に保護者同士の交流の充実を更に進めることが求められています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、保護者交流の機会が大幅に少なくなり、そのことがアンケートにも反映された結果となりました。その一方で、オンラインを活用した交流会の開催や研修、感染症の発生時の対応等に積極的に取り組んできたことについては、高い評価をいただいたと考えています。

今後ともこの結果をもとに、引き続き質の高い療育を提供していくとともに、利用者のニーズに応じていたいと考えています。またホームページやフェイスブック等も活用しながら分かりやすい情報発信を心がけ、保護者の信頼に応えられるよう努力してまいります。

理事会を開催しました

6月5日（月）に理事会を、6月20日（火）に評議員会を開催しました。理事会では令和4年度の決算報告



の議案を中心に、評議員会では令和4年度の事業報告・決算書等について議決をいただきました。



幼児教育担当者・初等教育研究特別支援部会のセンター視察と意見交換が行われました

8月21日もず園、8月25日つぼみ園に公立幼稚園教諭の方が来られ並行通園の見学や担当者との意見交換が行われました。

また8月23日つぼみ園、24日もず園に特別支援に携わっている小学校教諭の方がこられ、センターの療育の見学をしていただきました。

幼稚園からは並行通園への期待があり、今後はこういったつながりの中で子どもへの支援ができるよう頑張っていきたいと思えます。



編／集／後／記

令和5年度になり新型コロナウイルス感染症が5類になり、少しずつコロナ禍前の生活に戻ってきているのを感じています。引き続き利用者の方の安心・安全を守っていきながらみなさまの笑顔があふれるよう日々頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

（療育の窓 おおぞら 所長）

社会福祉法人 堺市社会福祉事業団

堺市立南こどもリハビリテーションセンター
第1・第2つぼみ園 TEL 072-299-2031
FAX 072-299-2100
つぼみ診療所 TEL 072-294-7941
療育の窓 おおぞら TEL 072-294-7943
FAX 072-298-0216
事業団事務局（南リハ内）TEL 072-294-7942
FAX 072-298-2032

堺市立北こどもリハビリテーションセンター
第1・第2もず園 TEL 072-279-0500
FAX 072-270-2126
もず診療所 TEL 072-279-3768
相談支援室 もず TEL 072-279-3668

堺市立健康福祉プラザ
市民交流センター TEL 072-275-5017
FAX 072-243-0330
授産活動支援センター TEL 072-275-5018
FAX 072-243-0330
生活リハビリテーションセンター TEL 072-275-5019
FAX 072-243-0202

堺市立健康福祉プラザは「社会福祉法人堺市社会福祉事業団」「特定非営利活動法人堺障害者団体連合会」「公益財団法人フィットネス21事業団」の共同事業体が、指定管理者となって管理・運営を行っています。